

施策評価シート

評価年度	平成29年度	事業実施年度	平成28年度	施策主管次長名	政策推進部次長 溝口 洋
施策番号	65	施策名	にぎわいと交流のあるまち		総合計画掲載頁
関係課名	企画政策課、産業課、生涯学習課、道路河川課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	対象指標名		単位	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画	総計目標
		① 人口		人	60,365	60,860	61,154	61,449	—
		②							
		③							
意 図	・中心市街地や鉄道駅周辺地区を活性化させにぎわいを創出する ・まつりやイベントなどの開催によりにぎわいづくりを支援し、市の活性化につなげる			成果指標名	① 図書館学習交流プラザ利用者数(H27までは既存3施設の利用者の合計)				
				成果指標名	② いいじゃんまつり踊り手の参加人数				
				成果指標名	③ 三大まつり総観客動員数				
				成果指標名	④				

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H27実績	H28計画	H28実績	H29計画	H30計画	総計目標
①	図書館学習交流プラザ利用者数 ※開館までは既存3施設の利用者の合計	人	158,307	240,050	278,407	295,460	304,460	—
	指標設定の考え方と把握方法 市中心部の人の流れを図る指標として、中心部にある公共施設利用者を把握							
②	いいじゃんまつり踊り手の参加人数	人	2,250	2,300	2,250	2,300	2,300	—
	指標設定の考え方と把握方法 まつりの活性化を図る指標として、踊り手として参加した人数を把握							
③	三大まつり総観客動員数	人	117,000	117,000	118,000	118,000	120,000	120,000
	指標設定の考え方と把握方法 市の魅力化を図る指標として、三大まつりの動員数を把握							
④								
	指標設定の考え方と把握方法							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	市民の参加により市民と地域が一体となって三大まつりを盛り上げることに伴い、市民相互の交流を深める。 地域の商業施設、店舗等を利用する。			
	行政	市民の交流やにぎわいが創出できる空間の整備を進め、人の動きに応じたまちづくり構想を策定する。			
達成度評価	近隣との比較	豊田おいでんまつり 観客数 480,000人/2日間 (人口比113.2%) 知立市よいとこまつり 観客数 20,000人 (人口比 28.0%) 安城七夕まつり 観客数 1,040,000人/3日間 (人口比555.6%) 豊明まつり総踊り 観客数 52,000人 (人口比 75.6%) 碧南総踊り 観客数 39,000人 (人口比 54.1%) いいじゃんまつり 観客数 28,000人 (人口比 46.0%)			
	過去3年間の実績との比較	三大まつりの観客動員数は、ほぼ横ばいの状況で、成果指標に大きな変動はない。			
現状と課題	◆ 中心市街地や駅周辺地域において、継続的ににぎわいを創出し活性化につなげるため、市民が自主的に開催するイベントに対する支援を行うとともに、土地利用の見直しを行う必要がある。 ◆ 商業者自らが独自性のある魅力的な店づくりを行うことにより、既存商店等の魅力をアップさせることが活性化につながるようになる。				
今後の取組の方向性及び次年度の取組	◆ 図書館学習交流プラザの開館による新たな人の流れに対応した中心市街地のにぎわいの創出を図る。 ◆ 三好ヶ丘駅周辺をカリヨンハウスを核として市の北の玄関口にふさわしいにぎわいづくりを進める。 ◆ 商業者自らが取り組むまちの活性化や既存商店の魅力づくりに対して市として積極的に支援する。 (30年度の取組) ・平成29年度に策定予定の中心市街地基本構想を、第2次みよし市総合計画の地区別構想に反映する。 ・三好ヶ丘駅周辺魅力づくり計画に基づく駅前広場整備事業の実施(H30～H31) ・商業者に対して、商工業活性化補助金等を活用した支援による商業の活性化				
市民意識	重要度	低い	満足度	低い	平成28年度市民アンケート調査による